

# 港まちづくり協議会

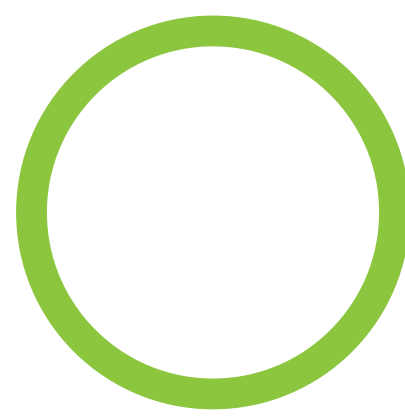
## ● コンセプトと方程式

# 『なごやのみ(ん)なとまち』

名古屋中のみんなと楽しめて、全国の皆さまに誇れる「みんなの港まち」を目指します。

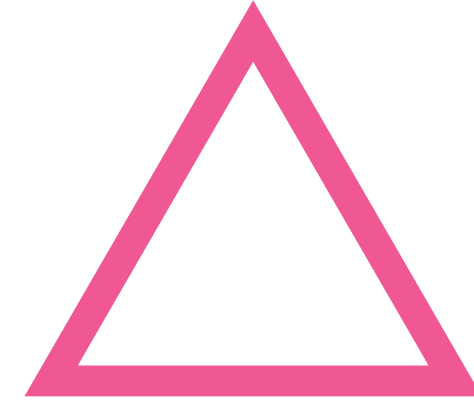
事業に参画する  
人々の数だけ  
物語が生まれます。

3つのテーマ



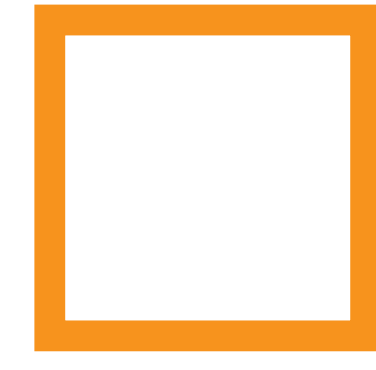
暮らす

+



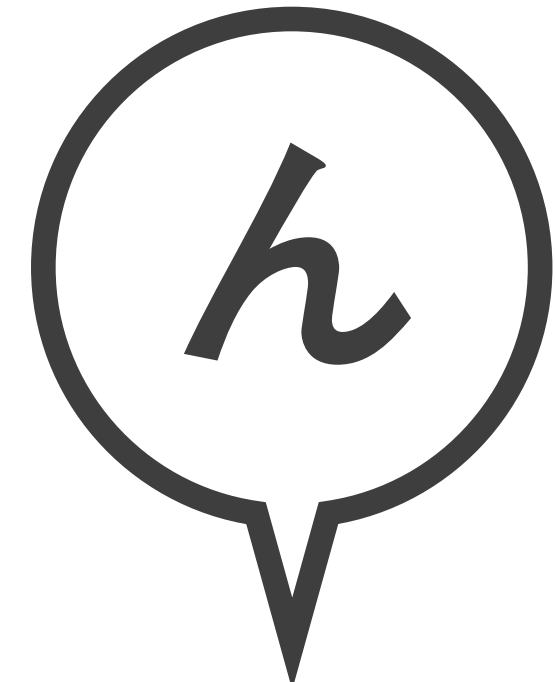
集う

+



創る

=



なごやのみなとまち

港まちづくり協議会って？

地域内外に誇れる「なごやのみ(ん)なとまち」を目指し、2006年より名古屋の港まちエリアで、住民と行政の協働によるまちづくり活動を行っている団体です。「暮らす、集う、創る」をテーマに防災、子育て、ガーデンプログラムなどの各種のコミュニティ活動、魅力・にぎわいづくり、アートプログラムなど、さまざまな事業を展開しています。

| 暮らしやすい地域 |

## ○ 暮らす LIVES



心地よく安心な港まちで「暮らす」

一人ひとりの関心を大切に、

港まちの日常的な暮らしを心地よくしていくことで、

みんなが安心できる港まちを目指します。

東日本大震災以降、防災・減災は日本中の人々の関心事となりました。海に面する港まちでは、高潮・津波・液状化など、この地域特有の事態への対策を講じる必要があります。また、発災時には、自助に加えて共助が求められるため、地域内の日常的なコミュニケーションが大切にされています。またさらに、日常的な暮らしや地域への愛着を育むことが、災害復興の推進力になるとも言われています。

そこで、港まちづくり協議会では、このような災害に対応する取り組みとして、防災・減災を楽しく学び実践する事業を推進し、あわせて各種のコミュニティ活動を支援し、地域におけるコミュニケーションの活性化を目指します。また、地域の中の様々な場所や空間に着目し、有効活用する取り組みを通して、港まちへの愛着を育みます。港まちに関わる一人ひとりの関心を大切に、港まちの日常的な暮らしを心地よくしていくことで、みんなが安心できる港まちを目指します。

シナリオ① 楽しく学び実践するみなとまちBOSAI

シナリオ② 暮らしの豊かさを育むコミュニティ活動

シナリオ③ 港まちならではの空間の有効活用



シナリオ①

## 楽しく学び実践するみなとまちBOSAI

港まちでは、高潮・津波・液状化といった地域特有の事態への対応だけでなく、観光やビジネス等を目的とした多くの来訪者への対応も考慮しなければなりません。また、この地域が体験してきた伊勢湾台風などの過去の災害、それを乗り越えてきた地域の知恵にも学ぶことが大切だと考えます。防災の専門家や実際に被災地で活動されている方々にもアドバイスをいただきながら、楽しく学び実践する防災活動の総称を「みなとまちBOSAI」とし、一人ひとりの心構えを育んでいきます。



シナリオ②

## 暮らしの豊かさを育むコミュニティ活動

港まちの中には、和踊りや伝統芸能、アート、音楽といった文化的なコミュニティ活動が盛んです。また、子育てや高齢者支援などのテーマ型のコミュニティ活動も活発です。地域の中の日常的なコミュニケーションを活性化するために、各種のコミュニティ活動と協働し、多くの人々が楽しく関わり、つながりあえるような場づくりを広げていきます。一人ひとりの関心を大切に、港まちの日常を豊かで心地よいものにしていきます。



シナリオ③

## 港まちならではの空間の有効活用

港まちのメインストリートである江川線は、電柱が地中化されているため、大きな空が望める気持ちのいい空間が広がっています。また、海に面する水辺空間には、港まちならではの潮風が漂う施設があります。観光、ビジネス、商店、住宅といった別々の機能を持った建物が混在する雑多な風景も他にはない特徴と言えます。それらの空間の価値を再考し、より心地よい環境となるように整備する、あるいは有効に活用していくことが重要です。これらを地域の資源として活かしていく方法を探ります。



港まちづくり協議会は、環境整備協力費を活用したまちづくり事業を住民と行政の協働により実施しています

港まちづくり協議会 〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23 Minatomachi POTLUCK BUILDING TEL:052-654-8911 FAX:052-054-8912 Web:www.minnatomachi.jp

@potluck.paper2017 @minnatomachi @nagoyano.minnatomachi

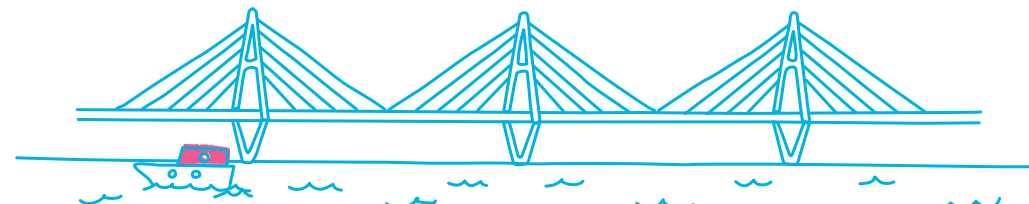


# 集う MEETS

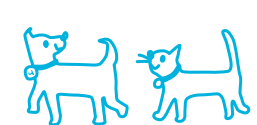


## 魅力的でにぎやかな港まちに「集う」

港まちに集うみんなの力をあわせ、  
港まちならではの魅力を活かした  
にぎわいづくりを目指します。



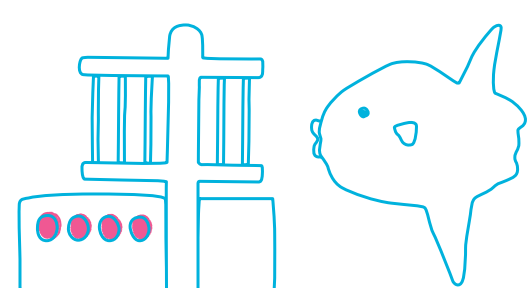
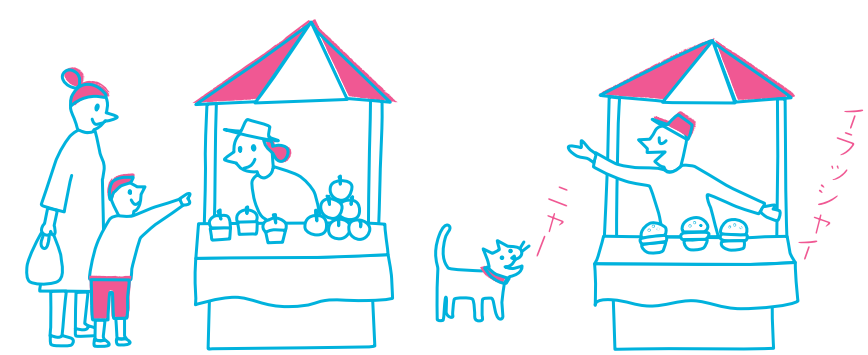
港まちでは、みなと祭をはじめとした伝統行事を地域の人々が独自に盛り上げてきました。それらの魅力的な風土や、地域の特徴ある行事を活かし、地域の皆さんと一緒に進める魅力・にぎわいづくりを目指します。  
名古屋港周辺には、観光客やビジネス等を目的とした多くの来訪者がいます。また、近年では、アッセンブリッジ・ナゴヤや花火等の新たなイベントへの来訪者も増えています。そうした来訪者に、港まちの様々な魅力を紹介し、街のファンを育てることも大切です。そもそも「名古屋の港まち」の原風景は、地域外からの数多くの人々を呼び込むことで生まれたものでした。現在の港まちに集う人々と共に、新たな魅力・にぎわいづくりを目指していきます。



シナリオ④ 地域の特徴を活かしたにぎわいづくり

シナリオ⑤ アート&音楽を活用したまちづくり

シナリオ⑥ ガーデン埠頭と連携したエリア帯のにぎわいづくり



### シナリオ④

## 地域の特徴を活かしたにぎわいづくり

港まちの特徴ある催事を大切に、その持続的発展に役立つサポートを検討していきます。地域の人々のさらなる参画を促すことはもちろんのこと、そこに集う人々同士の交流を活性化し、新たなネットワークへとつなげていきます。そのためには、地域外の人々、団体・NPO・事業者等の参入も積極的に促していきます。地域内外の人々がこうしたイベントの運営を担っていくことは、お互いに知り合う素晴らしい機会にもなるでしょう。このような交流を通して、地域に根づいた魅力的なにぎわいづくりを目指します。



### シナリオ⑤

## アート&音楽を活用したまちづくり

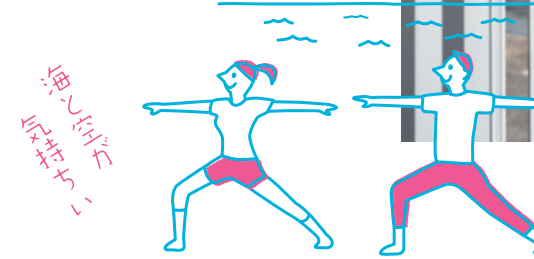
港まちでは、時代に先駆けて、倉庫や街中の空き物件等を活用したデザインやアートのイベントが盛んに行われてきた歴史があります。そうした歴史に学び、アートさらには音楽といった文化的な取り組みやその創造性を、これからの港まちづくりの中にも積極的に取り入れていきます。2016年より始まった音楽とアートの祭典であるアッセンブリッジ・ナゴヤには、毎年多くの人々が訪れるようになっており、地域にも徐々に浸透しつつあります。芸術文化に親しむことをきっかけに、地域の中で、多様な人々を受け入れる寛容性を育てることができれば、より多くの人々を呼び寄せることができるようになるでしょう。



### シナリオ⑥

## ガーデン埠頭と連携したエリア帯のにぎわいづくり

ガーデン埠頭には、名古屋水族館をはじめとした魅力的な観光施設が多数存在しています。しかし、それだけでなく街区も含めたエリア帯で考えると、海・空・風といった自然、港湾産業にまつわる歴史遺産、都市計画デザインと下町の雰囲気重なり合う街並み等、魅力的な風景が浮かび上がってきます。ガーデン埠頭を訪れる人々には、そうしたこのエリア帯の魅力を紹介し、全体を回遊し楽しんでいただける取り組みを検討していきます。市民や専門家等々の多様な意見を参考にして、エリア帯のにぎわいづくりを目指します。



# 創る CREATES



## みんなと港まちを「創る」

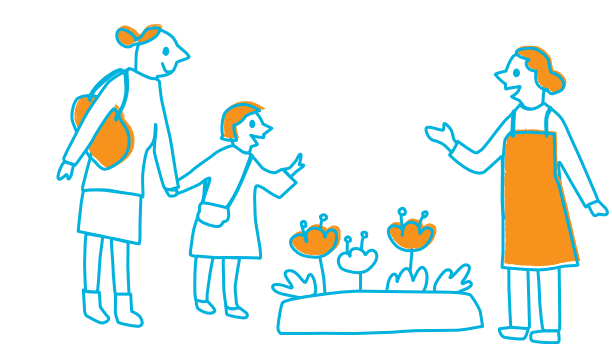
「なごやのみ(ん)なとまち」のコンセプトを軸にして、  
人々の共感と信頼を育みながら、  
みんなと一緒に取り組む協働まちづくりを目指します。

「なごやのみ(ん)なとまち」を目指すまちづくりの3つ目のテーマは「創る」です。港まちづくり協議会の拠点の名称は、「あり合わせ・持ち寄りの料理」を意味する「ポットラック」を、「今ある資源を活かし、場所や時間を共有し楽しむ」等の人間の創造的営為と解釈して、「Minatomachi POTLUCK BUILDING:港まちポットラックビル」と名付けました。港まちポットラックビルは、人々が互いの知恵や課題を持ち寄り、学びあいながら、創造的な解決を目指します。  
まちづくりの中に、多様な職能を持った人々の創造的思考:creative thinkingを積極的に取り入れ、それらをかけ合わせることは、人や土地の潜在的な可能性を引き出し、まちへの気づきや新たな魅力を見いだすきっかけを与えてくれるでしょう。

シナリオ⑦ 港まち内外の人々をつなぐ情報発信

シナリオ⑧ 港まちに呼び込む新たな風

シナリオ⑨ 人づくりを軸にした協働まちづくり



### シナリオ⑦

## 港まち内外の人々をつなぐ情報発信

毎月発行するニュースレター、年間の活動をまとめた報告書、WEBやSNS、そしてポットラック新聞、かわら版等、様々な種類の広報媒体を使った情報発信をしています。港まちでの活動を、より多くの方に知っていただくことが大切ですが、この地域の皆さんに知っていただくことも重要です。そして、さらには、これらの情報発信を通して「地域内外の人々をつなぐ」ことが大きな目標でもあります。外からの視点で、街を見ると、今まで気がついていなかった魅力に出会い誇らしく思える。そんな小さな視点の交換を大切にしていきます。



### シナリオ⑧

## 人づくりを軸にした協働まちづくり

街の底力や基礎体力となる人づくりを大切にしていきます。港まちの各種の地域活動についても、行事の計画づくりや会議、PR等をサポートし、地域活動の自主的で継続的な運営を支援します。「み(ん)なとまちVISION BOOK」に描かれたテーマやシナリオを踏まえた、新たな「港まちづくり」を推進していくため、市民と行政の協働を人づくりを軸にして促進していきます。



### シナリオ⑨

## 港まちに呼び込む新たな風

「なごやのみ(ん)なとまち」の活動に関わりたい!参加したい!というアイデアや企画をもった担い手の参入を促進し、新たな風を呼び込む機会として、提案公募型事業を実施します。また、港まちの魅力的な空き店舗、空き物件を有効活用するために、それらを活かして新たな事業に挑戦する人々を積極的に受け入れていきます。みんなと一緒にまちづくりを進めていくアイデアやその実践を、新たな「港まちづくり」の取り組みとしてプランディングしていきます。



港まちづくり協議会は、環境整備協力費を活用したまちづくり事業を住民と行政の協働により実施しています

港まちづくり協議会 〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23 Minatomachi POTLUCK BUILDING TEL:052-654-8911 FAX:052-054-8912 Web:www.minnatomachi.jp

@potluck.paper2017 @minnatomachi @nagoyano.minnatomachi